

インタビュー

国際社会に生きる

IAEA邦人職員に聞く①

「ワイン市中心部から北西に数キロ、ドナウ川北岸にそびえる
「国連都市」。ここに国際原子力機関（IAEA）が本部を置く。
IAEAに勤務する五人の日本人職員をオフィスに訪ね、国際社
会で働く経験と感想、日本の原子力界への提言、将来IAEA職
員を目指す日本人への助言などを聞いた。（喜多智彦記者）

「日本が
技術で一流
であること
が何より重
要」。IAE
Aを目指す
日本人には
「専門知識にもとづく知
見」を求める。

谷口富裕氏（IAEA事務次長）

感想、「仕事は快適」と言い
切る。「日本では上に行けば
議論されるようになってしまった。
た原子力輸出の問題、世界
間関係だが、ここでは技術。
二十一世紀におけるレジーナ
ム作りに真正面から取り組
める」。国際機関ならではの
仕事のやりがいを強調す
る。

最近、ようやく日本でも
行けば、配慮すべきは人
間関係だが、ここでは技術。
で激しい中盤戦が繰り広げ
られる中で「日本は序盤の
布石を議論している」。早
速に「真正面から取り組
めないと手厳しい。
一年に一回の定期検査など
の要職を務める。

世界で評価される日本に



主なニュース

- 原子力委、原子力大綱を決定（2面）
- 「原子力の日ボスター」受賞作（2面）
- IAEA等にノーベル平和賞（3面）
- 仏アレバが米市場に本格進出（3面）
- 御前崎で市民参加懇談会開く（4面）

「ワイン市中心部から北西に数キロ、ドナウ川北岸にそびえる
「国連都市」。ここに国際原子力機関（IAEA）が本部を置く。
IAEAに勤務する五人の日本人職員をオフィスに訪ね、国際社
会で働く経験と感想、日本の原子力界への提言、将来IAEA職
員を目指す日本人への助言などを聞いた。（喜多智彦記者）

「日本はルール・ティカ」。
一方で、こうした立場か
ら日本を見ると、いかにも
体としてはオーブンとの
歯がゆく見えるようだ。

基づいた検査にはなってい
ない」と指摘する。

日本より後発組の中華人民共和国は、IAEAの支援を

受けながら原子力発電導入

を行ったこともあり、IA

EAの基準を使い「グロー

ル・スタンダード」に基

づいた安全規制を行つてい

る。規制機関等の中堅幹部

も日本で博士号を取った人

自分が問題と思っている

ことはそういうことに関与をし

ない、「国際的レジームが

石油価格の高騰が続くな

る」と日本はルール・ティカ

がグローバル化、「とりわ

たトヨタが、今や利益率で

「さえない同族会社だっ

た韓国は、IAEAの支援を

受けながら原子力発電導入

は世界一。日本国内での原

子力発電市場は伸び悩みが

予想され、世界の市場を考

えないと、日本の原子力は

成立しない」。

本が初期段階から加わって

ることにも批判的だ。

石油価格の高騰が続くな

る。このよろこんで、IA

EAに職員を送る日本の電

力会社が、むしろ社員を引

き揚げる動きを見せている

ことを懸念、「むしろ増やす

べきだ」と指摘する。電力

自由化が進む中、縮みの思

考で小さく合理化しようと

が、日本にとっての利益で

あり、そのためには、企業

トップが何をすべきか考

え、国際機関を利用して

実現するよう求められる。(来週

インタビュー

国際社会に生きる

IAEA邦人職員に聞く②

IAEAに数少ない日本人職員の中でも、さりに貴重な女性職員の米村氏は、保障措置局でイランでの保障措置を担当する査察官。注目を集めているイランの査察は、担当のコアグループ数名のうち、米村氏と日本人最古参職員の小泉氏、日本人一人が中核を作る。

査察官は厳しい勤務を強いられる。査察のために年間の出張日数は約百日。女性と例外とはならない。イランへの一週間程度の出張を繰り返す。

米村氏は一九九一年に当時の科学技術庁に入庁。十年あまり同僚と文部科学省で勤務した後、「上司からIAEAに派遣され、もどづく査察が行われている。

数名のうち、米村みはる氏(保障措置局査察官)のコアグループでの査察には「特に新しいこと」ではない。しかし、核不拡散条約(NPT)にもとづく保障措置は、あくまでも自己申告に基づいて行われ、「隠そうと思えば隠せること」が問題。長年、保障措置取る。国によっては、個人から直に情報聴取できない場合もある。

IAEAでの日本人採用について、米村氏は「日本人なら有利、女性ならなお有利」と言うが、「仕事をするためにはその分野に関

てみんなかと声をかけられ」IAEA職員に応募、二〇〇〇年九月にIAEA勤務となつた。昨年夏にIAEAから長期契約を獲得、今年九月には文科省からの派遣期間が五年間の上限に達し、同省でイランでの保障措置局を辞職した。

イラン担当となる前には、戦争前のイラク査察も担当した。イランの査察も担当した。米村みはる氏(保障措置局査察官)

IAEAで日本人職員がなかなか増えない理由は、「日本の会社・組織に職員を送り出す体制がない」からだと見る。



事の上では、女性も男性も関係ない。女性だからといって肩肘張ることなく、とも。

IAEAで日本人職員がなかなか増えない理由は、「日本の会社・組織に職員を送り出す体制がない」からだと見る。

IAEAで働くことに経済的なメリットが少なくなった。「日本人は勤勉で、やるべきことならない仕組みがないと指摘。さらに、日本が裕福になった結果、IAEAで働くことに経済的な影響があった。」とはきちんとやる貴重な存在。イランで採取した大量の環境サンプル分析では、IAEAサイバールスドルフ研究所の久野氏に大いに助けられ、同氏からも「最後に頼りになるのは日本人」との言葉をもらったと喜ぶ。(喜多智彦記者)

インタビュー

国際社会に生きる

IAEA邦人職員に聞く③

尾本氏は東京電力出身。生糸の日本の民間出身者がIAEAの部長クラスに就任するのはきわめて異例だ。東電の原子力技術部長を務め、原子力産業界では以前からよく知られた存在だったが、新たに立場での活躍に期待がかかる。

民間企業からIAEAに来てみて、人の頻繁な交代にもかからず、「過去の経験、経緯などが良くなじみ、信頼できる」と評価される。「システムがしっかりと運営されている」という印象を受けた。日本では担当者が頻繁に代わり、そのためノウハウや方針がご破算になることが多いとも。

IAEA職員三千三百人中、日本人職員は四十六人。そのうち出

向者等を除いた正規職員は二十人程度にすぎない。IAEA通常予算で、米国に次ぐ二〇%弱を握っている日本の存在は、米国人八十五名に比べると、いかに

も目立たない。しかし、「IAEAの日本人職員が少ない」との日本側の主張に対し、エルバラダ事務局長は「日本人は応募してこないではないか」と反論する

が常という。

IAEA職員の募集では、一つのポストに百人前後が応募してくるのが普通だが、尾本氏が部長を務める原子力発電部の課長職の募集に、応募してきた日本人は一人のみ。またその応募も、本人の専門分野と必ずしもぴったり合致するものではなかったと悔やむ。「自分に合う、ぴったりとしたポストに応募して、国際貢

原子力導入を支援

尾本彰氏(原子力発電部長)

向者等を除いた正規職員は二十人程度にすぎない。IAEA通常予算で、米国に次ぐ二〇%弱を握っている日本の存在は、米国人八十五名に比べると、いかにも目立たない。しかし、「IAEAの日本人職員が少ない」との日本側の主張に対し、エルバラダ事務局長は「日本人は応募してこないではないか」と反論する

が常という。

IAEA職員として必要な条件として、日本の原子力の国際性を測る一つの「指標」。十五年の職務経験、国際社会での経験、学位など、IAEA職員として必要な条件として、原子力の国際化を目指す途上国での原

子力発電の拡大、インドネシアやベトナムなどに加え、チリ、モロッコなど多くの国での原子力発電導入計画が注目を集めている。尾本氏は、これらの国の人材を育成するため、原子力安全局の「セーフティ・シリーーズ」は、世界中で高く評価され、同局が行うサービスの根柢をはつきり示す。「質の高い技術文書が世界中で読まれ、グッドプラクティスが普遍化するために、送り出す側の原子力局で、体

の支援、革新的原子炉および燃料サイクルに関する国際プロジェクト(INPRO)に代表される技術開発の三業務だ。

中国、インドなど途上国での原子力発電の拡大、インドネシアやベトナムなどに加え、チリ、モロッコなど多くの国での原子力発電導入計画が注目を集めている。尾本氏は、これらの国の人材を育成するため、原子力安全局の「セーフティ・シリーーズ」は、世界中で高く評価され、同局が行うサービスの根柢をはつきり示す。「質の高い技術文書が世界中で読まれ、グッドプラクティスが普遍化するために、送り出す側の原子力局で、体

の支援、革新的原子炉および燃料サイクルに関する国際プロジェクト(INPRO)に代表される技術開発の三業務だ。

いか、ビジョンと目標を持つことが重要だと指摘する。



として、原子力局の発行する「技術文書」の体系化を挙げる。今後さらに力を入れたい仕事としては、原子力局の発行する「技術文書」の体系化を挙げる。原子力安全局の「セーフティ・シリーーズ」は、世界中で高く評価され、同局が行うサービスの根柢をはつきり示す。「質の高い技術文書が世界中で読まれ、グッドプラクティスが普遍化するために、送り出す側の原子力局で、体

の支援、革新的原子炉および燃料サイクルに関する国際プロジェクト(INPRO)に代表される技術開発の三業務だ。

中国、インドなど途上国での原子力発電の拡大、インドネシアやベトナムなどに加え、チリ、モロッコなど多くの国での原子力発電導入計画が注目を集めている。尾本氏は、これらの国の人材を育成するため、原子力安全局の「セーフティ・シリーーズ」は、世界中で高く評価され、同局が行うサービスの根柢をはつきり示す。「質の高い技術文書が世界中で読まれ、グッドプラクティスが普遍化するために、送り出す側の原子力局で、体

の支援、革新的原子炉および燃料サイクルに関する国際プロジェクト(INPRO)に代表される技術開発の三業務だ。

インタビュー
国際社会に生きる
IAEA邦人職員に聞く④

村上氏はIAEA日本人職員の「出世頭」だ。今から二十三年前、課長補佐クラス(P3)の検査官としてIAEAに入り、それ以来保障措置一筋。業務C2課長(P5)を経て、実施C部長(D1)に就任、さらに最近、上級部長(D2)に昇進した(かつて内は職務グレード)。

IAEAでは、ポスト毎に経験者を雇用し、原則的に雇用期間が五七年間の「フィックス・ト・ターム」契約。IAEA内で長期契約を得て、昇進し、キャリアを作ることのできる人は、例外的存在に近かった。しかし村上氏は、自らを「入ってきた

人間が残れる、長期に勤務し、昇進できる証拠。努力をすれば、上にあがれる証拠」だと反論、後進を叱咤、激励する。

村上氏が担当する実施C部は、欧州、東欧、旧ソ連邦諸国(P3)の検査官としてIAEAに入り、それを経て、実施C2課長(P5)を経て、実施C理事会の下に、保

障措置特別委員会が設置され、将来の保障措置のあり方を検討している。また、近い将来、北朝鮮で核検査の再開が予想されているという。

IAEAでは、正規職員も少く、求められる資質が変わったといった。幅広い知識と情報収集・分析能力が必要になつてきている。そのため、内部で育て外からもいる社会ではな

いが、上級職員の数はさらに少ないので、「内部で育て外からもいる」という精神的な強さと目的性を持つべきだ。しかし、課長レベルでさえ先細りしてしまう

と危機感を持つ。「日本はトップレベルの人をIAEAに出さない」ので、広く議論し、積極的に能力を示し、チームワークが組める人材が必要だ。

IAEAの関わり方も問題となる。また、米印協力の進展など、インド・パキスタンなどの従来のものを超える検査を行う可能性も出てくるなど、保障措置局の仕事も大きく変わった。

AEA日本人職員の「出世頭」だ。今から二十三年前、課長補佐クラス(P3)の検査官としてIAEAに入り、それ以来保障措置一筋。業務C2課長(P5)を経て、実施C部長(D1)に就任、さらに最近、上級部長(D2)に昇進した(かつて内は職務グレード)。

IAEAでは、正規職員も少く、求められる資質が変わったとい

う。一方、イラン、リビア、エジプト、韓国などで保障措置協定違反が見つかることなど、コンプライアンスを今まで以上に厳しく

見る傾向が強まっている。

IAEAの日本人正規職員は二十名程度だが、その中でも部長クラス以上の幹部職員は三

人、課長クラスも三名に過ぎない。これは米国の同クラス三十

数人にはるかに及ばず、「メキシコ、インド、並」だという。

IAEAは「黙つていれば分

かる」といふが、上級職員の数はさらに少ない。「内部で育て外からもいる」という精神的な強さと目的性を持つべきだ。特に女性は、日本よりキャリアを築ける可能性がある。女性だからといって差別はない

が、別に得点もないと言ふ。むしろ、中国、韓国の人の方

が熱意が強く、積極的で目的意識を持っている。「どうしてもI

多文化の下で、自分を主張で

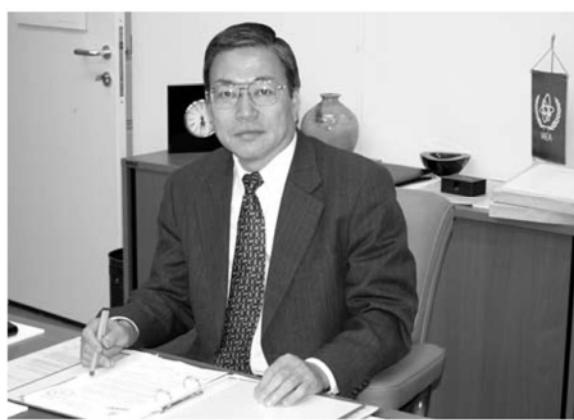
いる。日本なら、AEAに行き、査察官になりたいと

いる人が増えた」。

IAEAのネームバリューも上がってきたことから、空席ポストに外部から応募する人の数と質が上がっており、人材の質を高める面から歓迎する。

IAEAでキャリアを作る

村上憲治氏(保障措置局実施C部長)



IAEAでは、正規職員も少く、求められる資質が変わったといった。幅広い知識と情報収集・分析能力が必要になつてきている。そのため、内部で育て外からもいる社会ではないが、上級職員の数はさらに少ない。「内部で育て外からもいる」という精神的な強さと目的性を持つべきだ。特に女性は、日本よりキャリアを築ける可能性がある。女性だからといって差別はないが、別に得点もないと言ふ。むしろ、中国、韓国の人の方が熱意が強く、積極的で目的意識を持っている。「どうしてもI

多文化の下で、自分を主張できる。(喜多智彦記者)

インタビュー

国際社会に生きる

IAEA邦人職員に聞く⑤

原子力関連企
業・機関出身者
がほとんどを占
めるIAEA曰
本人職員の中
で、山下ひろ志
氏は、ウィーン
にある国連工業
開発機関(UN
IDO)出身と
異色だが、国際
公務員としては
むしろ正道。購
買担当一筋に歩んできた。

大学卒業後、日本のカメラメー
カーに就職し、購買、輸出入業務
などを経験。この間、東京で行わ
れた第一回国連競争試験に合格、
口頭試験にも受かった。
「小さい頃から、海外に出て活
動したいと思っていました」ことが
機。競争試験の実施が新聞に掲載

ストを得た。

十三年間のUNIDO勤務を

模に行っているのはIAEAだ
けではないかともいいう。

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

世界で世界のために 山下ひろ志氏(管理局購買課長)

模に行っているのはIAEAだ
けではないかともいいう。

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

原稿料関連企
業・機関出身者
がほとんどを占
めるIAEA曰
本人職員の中
で、山下ひろ志
氏は、ウィーン
にある国連工業
開発機関(UN
IDO)出身と
異色だが、国際
公務員としては
むしろ正道。購

買担当一筋に歩んできた。
いうが、「海外に出るつもりで、
英語をしっかり勉強していた」。
しかし試験には合格したもの

の、国連からは「ポストが空かな
ければ呼んでもらえない」。日本
のメーカーでの勤務を続け、その
後、UNIDOで購買担当官のボ

り、警察業務のような仕事を大規
模に行っているのはIAEAだ
けではないかともいいう。

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

UNIDOからIAEAに
移ってみて、「非常に科学的、熱
心にIAEAのために仕事をし
ている」ことに感銘を受けたとい

う。IAEAの主要業務の一つで
ある保障措置(査察)は、国連機
関としてはユニークなものであ
り、警察業務のような仕事を大規

模に行っているのはIAEAだ
けではないかともいいう。

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

方が楽でいいと考え
る人が多いようだ」と
言いながらも、山
下氏も最初に就職し
た方々は給料はよ

しかしながら、と苦笑。
しかし、「世界に出
て、世の中のために
なる仕事は、ほかに
ない」と、国際公務
員として世界への貢
献を誇りにする。

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク

IAEA職員を目指す日本人
ただ最近採用される職員の質
が変わってきてること、イラク



「最近の若い人は、日本にいる

「最近の若い人は、日本にいる

「最近の若い人は、日本にいる

「最近の若い人は、日本にいる

「最近の若い人は、日本にいる